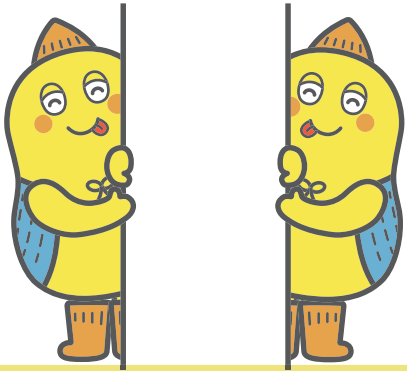
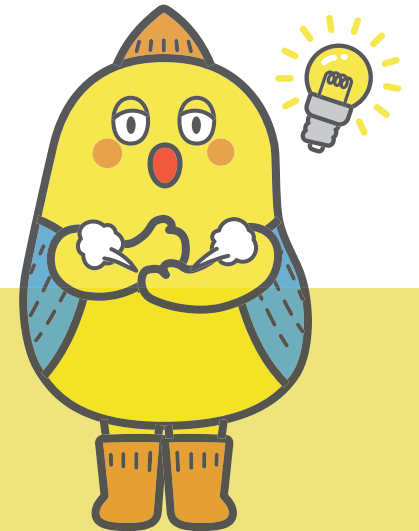


田島まちなか

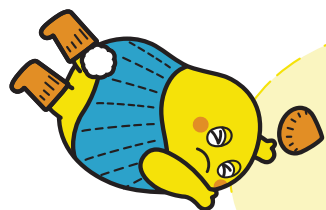
未来 んだんだ ビジョン



みんなで んだんだ いいながら、
つくりあげていく「未来ビジョン」
2025.3 Ver.



田島まちなかエアープラットフォーム



この未来ビジョンは、
今後も活動が続けていくなかで、
都度更新していく予定です！

～ こうなったらいいな
・こんなことをやってみたいな ～

どうしたらもっとよいまちになるか、
社会実験をくりかえしながら、
“んだんだ” 話し合っ
て一緒に作りあげていきませんか。

“熱意がすこしずつ形になってきました”

さて、どうやって
実現させていくの！？

ここが大事なところですよ！

目次

はじめに

なぜ、田島のまちなかで、いま
「官民連携」の「まちなか再生」をすすめているのか？ 01

田島まちなか未来 ⁶⁶んだ ビジョンとは？ 03

未来「んだんだ」ビジョンの考え方 04
田島まちなかエリアプラットフォームについて 05
対象エリアについて 07
まちなかの現状と課題 09

これまで行ってきた社会実験 11

魅力的なまちなかをめざして 12
これまでのプロジェクト会議 13
こんな社会実験をしました！ 15
想いを詰めこんだ「てくてくマップ」ができました！ 29

これから目指していくまちなかの将来像 33

田島まちなか全体将来イメージ 35
大きく力を入れていくプロジェクトはこれだ！ 37
まず実行に移していく取り組みは・・・ 39
・「石造建築物の耐震補強の検討と活用イベントの実施」 41
・「日本家屋の活用に向けた運営計画・体制づくり」 43
・「QRコード事業 / 祇園祭 Ver. の展開、大屋台の活用イベントの実施」 47
小さなこともコツコツと。いろいろカルテ 49

どうやって実現していくか？ 51

未来「んだんだ」ビジョンの展開シナリオ 52
推進体制 + どんどん仲間を増やしたい！ 53

※特別コラム「日本庭園から見た田島祇園祭の「神橋」について」 55



はじめに

なぜ、田島のまちなかで、いま「官民連携」の「まちなか再生」をすすめているのか？

これまでたくさんの検討を重ねてきました

平成 28 年度

南会津町田島地区
中心市街地活性化ビジョン

平成 29 年度

南会津町田島地区
触れ合いまちなか活性化事業

平成 28- 令和元 年度

南会津ワカモノ会議提言書

令和元 年度

まるゆ跡を活用した
まちなか拠点整備事業



機運の高まりと期待

これまで様々なビジョンや施策の検討が重ねられてきましたが、人口減少・少子高齢化の影響は大きく、まちなかでも空き家・空き店舗が年々増加している状況です。

その中で、まちなかの地区を特徴づける大きな要素となっている、石造建築物及び隣接する日本家屋等の施設を町が取得するなど、あらためてまちなかの再生に取り組む機運が高まっています。

また、平成 29 年度からは東武鉄道の特急リパティの会津田島駅乗り入れの開始や、国道 289 号田島バイパスが令和 4 年に全線開通、令和 8 年には八十里越が開通予定となっており、新潟 - 福島をつなぐ新しい観光ルートの創出も期待されています。

まずは住み暮らす自分たちが 楽しめるまち・住みよいまち

会津鉄道の会津田島駅を有し、首都圏とのアクセスもよく、美しい山々に囲まれる田島地域は非常に魅力的な地区といえます。

まちなかの魅力向上やにぎわい創出等について、観光のみならず、まずは住み暮らす自分たちが楽しめるまち、住みよいまちを基本とするまちづくりの発想で、地区住民や商工会、活動の担い手等とともに、計画だけに留まらない具体的な取り組みや、みんなが参加できるメニューなどを盛り込み、まちづくりを進めていきます。

まちなかの魅力を高め、 楽しく周遊したくなるまちへ

中心市街地まちなかは、コンパクトなまちを形成していますが、ふるさと物産館や新たに整備された「きとね」など、田島バイパス沿いに集中する施設からは一定の距離があり、両地区のつながりを強化していくことが、周遊したくなるまちなかの魅力を高めていくには重要です。

特にまちなかの重要建造物である石造建築物・日本家屋の活用を図りながら、通りの魅力向上や屋台格納庫の活用など、各地域の特色を活かした取り組みを推進していくことで、歩いてまわれるまちなかの形成を目指します。

機運を活かした、いまこそ！の 官民連携まちなか再生

これまでの行政主導のまちづくりでは、限られた予算や担い手不足のもと、なかなか計画の推進に至らないことが課題でした。

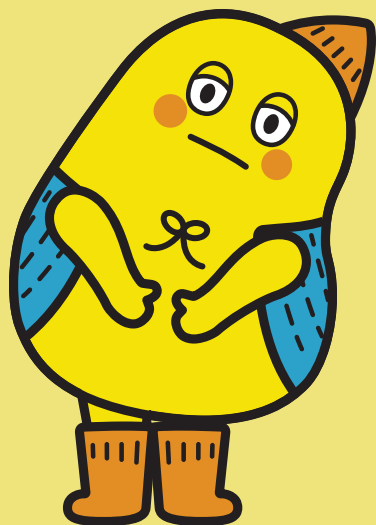
官民連携まちなか再生推進事業は、運営にも住民が参画し、「自分たちのまちは、自分でつくる」という、『自立・自走システムの構築』に重点を置いているのが特長です。

まちなか再生に関わる公共事業が進められているいまこそこの機会を逃さず、「田島まちなかエリアプラットフォーム」が中心となって、社会実験を繰り返しながら、みんながまちづくりに参加する機会を創出し、組織の持続とビジョンの実現に向けて奮闘していきます。

どうして

んだんだ

ビジョンなの？



自分たちのまちは自分たちでつくる

この未来ビジョンは、「田島まちなかエリアプラットフォーム」のメンバーが、およそ2年かけて「こんなまちになったらいいな」を話し合いながら、

「とりあえずできることからやってみよう」

「本当にそれが実現できそうかな」「もっとこうしたほうがよさそう」

と、いくつかの社会実証実験をしながら、ここにまとめました。

このビジョンの実現のために、今後も一体となって取り組んでいきますが、それでもまだまだ一握りのメンバーです。

今後も活動を続けていくなかで、

「こうなったらいいな」「こんなこともできるのでは？」といういろんな意見や、「こんなことをやってみてほしい」「これだったらわたしも参加できる！」など、より多くの方に関わってもらい、“んだんだ”話し合いながら、未来をより具体的に描いていきたいと考えています。

もっと大きな広がりをもった未来を描きながら、さらに日々進化するビジョンを一緒につくりあげていきたいという想いで進めていきます。

『やってみたい』『やりたい』を大事にしたい。

やってみたら、考えていたよりすごい手ごたえがあった！
やってみたら、もう少しこうしたほうがいいのかも・がわかった！
やってみたら、いろんな人が関わりはじめた。

ビジョンが大きな広がりをもって動きはじめることを
目指しています。

田島まちなかエリアプラットフォームについて

エリアプラットフォームは、官と民が一体となり、まちなかの未来像を描き、その実現に向けて話し合い、取り組みを推進していくための場です。

南会津町田島地区中心市街地においては、まちの中心の魅力を高め、暮らしの場の充実と訪れたくなる空間づくり、おもてなし力を高めるまちづくり等に関する事項を協議し、共にまちなかの活性化と発展に取り組んでいくために設立しました。

設立：令和6年3月1日

構成員：計20名＋行政3

構成員名簿 会長1名：阿部 保憲

副会長2名：細井 信浩 / 渡部 裕高

*会員及び役員の任期は、2年

令和6年3月1日現在で在職する会員

及び役員の任期は、上記にかかわらず、

令和7年3月31日までとする。



エリアプラットフォームを設立したことで、期待できること

その名の通り

まちのプラットフォームに！

エリアプラットフォームを中心として、まちなかでの取り組みを続けていくことで、活動に取り組む仲間の輪が広がり、多様なプロジェクトが生まれて、まちが常に動いていくことができます。一緒に取り組んでいく担い手を集めて、共に変化していくことが大事です。

まちの日常の魅力度 UP

官民が連携することにより、単発のイベントの開催のみでなく、より多くの取り組みを一体的に行ったり、公共施設やみちといった空間の整備につなげていくことで、日常的なまちの魅力づくりにつなげます。

アクション実現に向けた協議・調整をスムーズに！

取り組みを進めるには、周辺住民や施設への事前説明や参加・協力の依頼、さらに許可申請などの行政手続き等、さまざまな調整ごとが出てきます。

タテヨコ様々な主体が関わり、情報や関係者のネットワークが一元化されることで、協議・調整がスムーズに進められます。

エリアプラットフォームでは、今後も住民や来訪者の声を聴きながら、まちなかを良くしていくアイデアを話し合い、そして社会実証実験として実践し、トライアンドエラーを繰り返しながら、未来「んだんだ」ビジョンを柔軟に更新していきます。

また、みんなで取り組み、時には運営までを担うことで、公共空間等の利活用を促進し、行政の再整備に対しても提言を行うなど、官民連携で足並みを揃えて、まちなかエリアの充実を図っていきます。

運営体制図（2025.3時点）



まちなかの現状と課題

メイン通り

郊外型大型店舗の出店や後継ぎ・担い手の減少などもあり、特に会津田島駅前通りや県道高岡田島線沿いには空き家・空き地や、閉まったままの店舗などが目立ちます。

また、歩道が狭く段差があるなど、安全な通行や快適性に課題があります。

建物の利活用や道路空間の整備など、足並み揃えた事業展開を図り、にぎわいを創出していくことが求められます。



美しい自然・風景

まちなかエリア周辺には、河川敷の桜並木や丸山公園、鳴山城址といった自然を楽しめるスポットや、まちを囲む山並みはもちろんのこと、まちなかを流れる水路など、豊かな自然や美しい風景に恵まれています。

このような環境を生かしたまちづくりが求められています。



石造建築物・日本家屋の活用

まちなかでは、風格ある歴史的建造物の数はあまり多くなく、会津田島祇園祭のまちとしての景観や、歴史あるまちの形成・維持に危機感が生じています。

まちなかの重要建造物である石造建築物・日本家屋の活用を図りながら、合わせて通りの魅力向上を進めていくことが必要です。



道路網の整備（国道121号バイパス / 会津縦貫南道路）

国道121号田島バイパスが令和4年に全線開通し、今後は会津縦貫南道路も開通するなど道路網の整備が進むことで、田島地域はさらに通過地点として衰退することが懸念されており、新たな観光交流によるにぎわいづくりが喫緊の課題となっています。また、バイパス側観光拠点のきとねや御蔵入交流館などから、まちなかや周辺を回遊するきっかけづくりや、つながりづくりが重要となっています。

特急リパティ

平成29年度から東武鉄道特急リパティの会津田島駅乗り入れが開始されましたが、田島地域では観光スポットや宿泊施設が少ないことや、まち歩きをするまでの魅力づくりまでにはまだ至っておらず、地域の活性化には十分に結びついていない状況にあります。

祇園祭を核としながら、来街者のまちなかへの誘導が期待されます。



核となるのは祇園祭



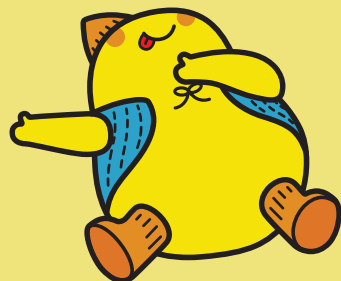
よこみち・うらみち

気持ちよくまちなかを周遊するには、バイパス側とまちなか側をつなぐ七行器通りをはじめとして、まちをつなぐみちの魅力化が欠かせません。

丸山公園や鳴山城址に続く緑と水辺のある通りなど、よこみちやうらみちルートの通りの整備や愛称づくりが求められています。



これまで 行ってきた 社会実験



魅力的なまちなかをめざして

「田島地域中心市街地まちなか再生計画」を2023年3月に策定してから、まちなかエリアの価値向上を目指して、エリアプラットフォームを立ち上げながら、2か年にわたってさまざまなプロジェクトを実施してきました。

観光のみならず、住み暮らす自分たちが楽しめるまち、住みよいまちを基本とした発想で、「まちなかの回遊性の向上」・「まちなかの魅力 UP と暮らしの場の充実」・「おもてなし力を高める」をテーマに、話し合いで見えてきた、まちの魅力と課題。

魅力的なまちなかをめざすための **5** つのキーワードが立ち上がりました。

- 1 国道121号（田島バイパス）から
まちなかへの誘導
- 2 まちなかメイン通りの修景
～道路整備との連携～
- 3 通りのネットワークの整備
まちなかをつなぐ仕掛けづくり
- 4 駅前空間のにぎわい創出
～田島陣屋の活用の充実～
- 5 まちの中心にある
石造建築物 / 日本家屋を活かす

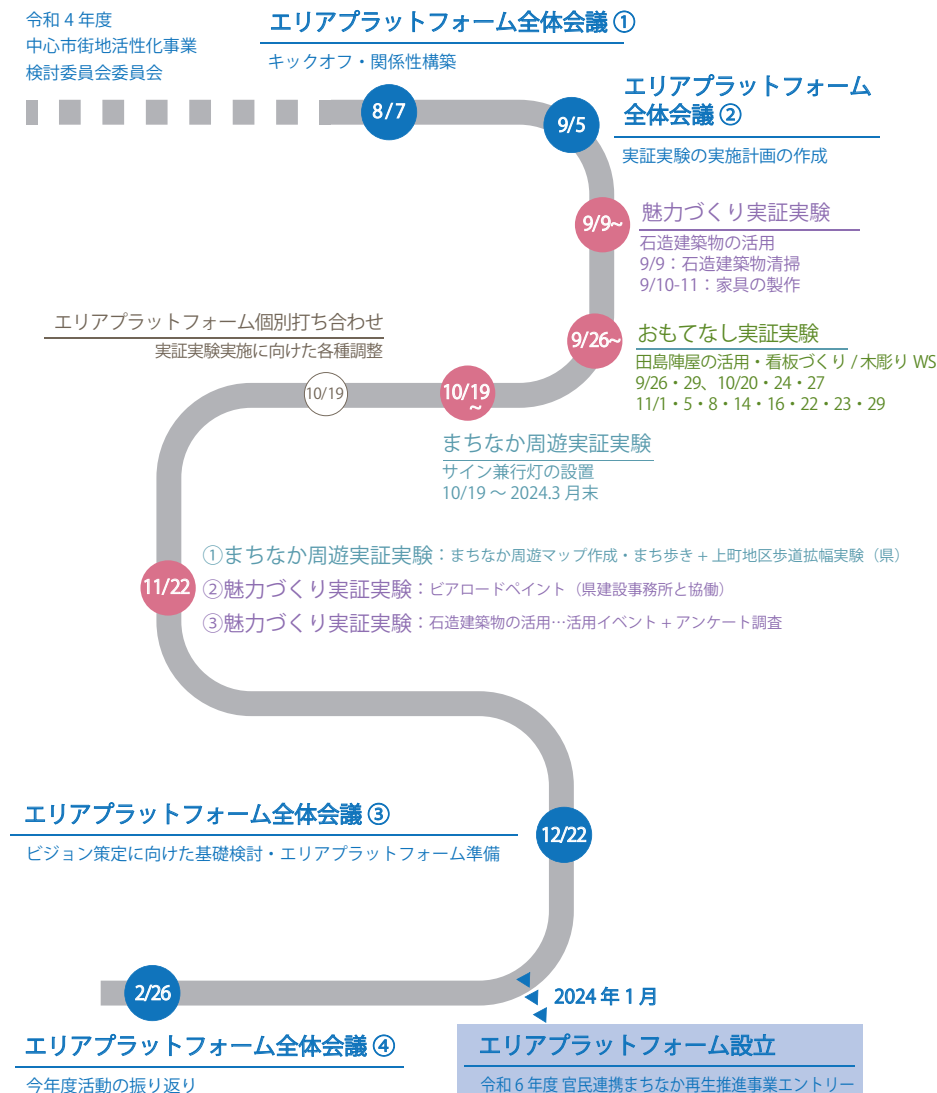
これまでの

プロジェクト会議

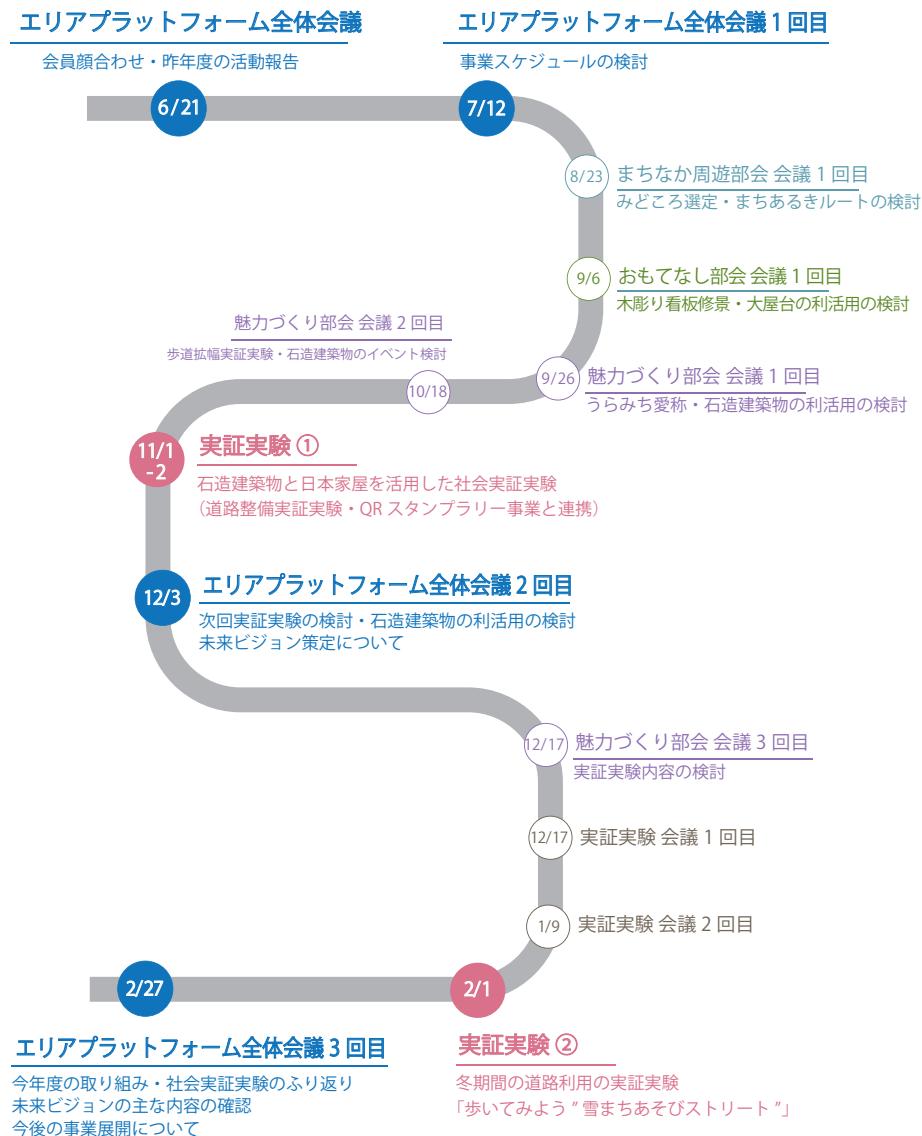
5つのキーワードから、エリアプラットフォームの多様なメンバーが連携して、これからのビジョンの基本的な方針や戦略の検討を重ねてきました。

2年目となる令和6年度の活動では、全体会議のほかに、魅力的なまちなかをめざして、さらに3部会に分かれて具体案を話し合い、より発展した社会実験を実施しました。

令和5年度 活動カレンダー



令和6年度 活動カレンダー



こんな社会実験をしました！

「こんな風になったらいいな」

「こういう使い方をしてみたい」

「こうしたらもっとよくなるのでは？」



話し合ってきた
まちの未来像や
まちの楽しみ方を
社会実験で
確かめてみました

魅力的なまちなかをめざすための **5** つのキーワードから、3 つの基本方針を設定し、

それぞれ3部会でより細かな社会実験を実施するとともに、
まちなか全体で道路整備の実証実験と連携し、まち歩きを含む計3回の
石造建築物の活用を中心とした社会実験を行いました。

- 1 国道121号（田島バイパス）から
まちなかへの誘導
- 2 まちなかメイン通りの修景
～道路整備との連携～
- 3 通りのネットワークの整備
まちなかをつなぐ仕掛けづくり
- 4 駅前空間のにぎわい創出
～田島陣屋の活用の充実～
- 5 まちの中心にある
石造建築物 / 日本家屋を活かす



まちなか周遊
部会

まちなかを周遊したくなるまちづくり

魅力づくり
部会

暮らしの場の充実
+ 訪れたくなるまちづくり

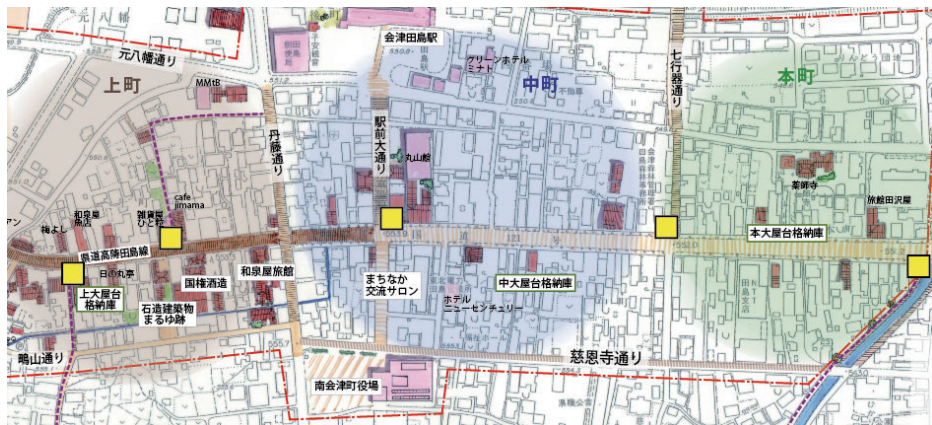
おもてなし
部会

おもてなし力を高めるまちづくり

まちなかを周遊したくなるまちづくり

サイン兼行灯

R5,R6 まち歩きを誘導する辻の灯り修景として、サイン兼行灯を設置



5カ所設置済



てくてく map の作成・ルートづくり

R5,R6

1年目は、みんなでまち歩きを行い、まち歩きルートやMAPに載せたい、地元の人しか知らないような、Deepな場所やよい眺めのスポットなどをチェックしました！

2年目は、QRコード事業と連携して、5つのまち歩きルートの設定と、QRコード設置箇所10スポットの設定を行いました。



モニターツアー・まち歩き

R5

都心からのパティ会津を利用のモニターツアーを実施（大人：4名、小学生3名）。まち歩きの取り組みへの課題、またよそから見たまちなかの魅力の発見などを検証しました。

おもてなし内容

- * 田島陣屋での木彫りの実演
- * 上大屋台・西大屋台格納庫の披露
- * 石造建造物での試飲・体験
 - ・ ニシンの炭火焼き
 - ・ 雪すべり台や休憩スペース設置
 - ・ 会津酒造：試飲用日本酒・解説
 - ・ とり笛づくりワークショップ
- * んだべえチケットでの買い物



モニターツアーの満足度

- ・ 大屋台が見られるのは嬉しい
- ・ 酒蔵の方のお酒の解説を聞きながら美味しいお酒が飲めるのは貴重で楽しい
- ・ おつまみの七輪体験が魅力的だった。
- ・ お買物券の配布があってよかった。
- ・ 田島ならではの「木・酒・自然」が駅周辺で体験できるのはよい。
- ・ とり笛づくりがとてもよかった。
- ・ 七輪焼きでマシュマロなど楽しかった。



歩きやすいみちづくりと 石造建築物・日本家屋の活用

「官民連携まちなか再生推進事業」

夜のまち歩き



実証実験を実施します！

官民連携まちなか再生推進事業では、市民・ビジネス関係者のための社会実験として、上野にある石造建築物及び日本家屋の活用方法を検討するため、石造建築物前広場に夜間実証実験イベントを開催します。上野区役所へ、通ずるのがたのしみ、どなたでも参加できますので、足を通んでみてください。なお当日会場では、簡単なアンケート調査を実施します。そのご協力をお願いいたします。

また、イベントに併せてまちなか人行灯（夜間）設置の実証実験を行います。人行灯、関連設備は4台設置いたしますので、最良の場所のなかを数箇所、試してみたいと思います。

■日 時：令和5年11月22日(水) 17 時30分～19 時

■場 所：石造建築物及び日本家屋前広場(田島上野地区)

■内 容：広場では郷土料理やお酒を提供します。またなかへ人行灯(表示灯)を設置します。



主催：エリアアットフォーラム構成員、南会連

A green, pixelated ghost-like figure with a triangular body, two small circular eyes, and a single arm raised. It is set against a dark, textured background.

A photograph showing children playing on a large, dark-colored mat on the ground. The mat features several white geometric shapes, including squares and circles, and a cartoon character that looks like a yellow and blue robot or alien. A child in a blue jacket is kneeling on the mat, and another child in a white jacket is standing nearby. A black bag is also visible on the mat.

石造建築物・日本家屋の建物の保存に関することや、今後の庭との一体的な活用方法や運営方法、また、まちなか全体の魅力向上について検討していくために、社会実験の実施を通して、アンケート調査を実施しました。

はい（増える）計 37		いいえ（関係ない）計 3	
10代以下	—	10代以下	×1
20代・30代	×11	20代・30代	—
40代・50代	×12	40代・50代	×1
60代以上	×14	60代以上	×1

<p>今回のような田島のお酒や郷土料理を楽しむ空間</p>	<p>  10代以下 ×1  20代・30代 ×7  40代・50代 ×8  60代以上 ×12 </p> <p>計 28</p>
<p>交流や活動の場として利用できるギャラリーやワークスペース空間</p>	<p>  10代以下 —  20代・30代 ×1  40代・50代 ×7  60代以上 ×9 </p> <p>計 17</p>

販売ブースやチャレンジショップなど買い物が楽しめる空間

10代以下	×1
20代・30代	×1
40代・50代	×3
60代以上	×7

計 12

- ・きれいなトイレ
- ・国道が暗い。灯りがほしい
- ・下水道が未整備の箇所のにおいの改善
- ・石造建築物を町の文化遺産として公開

商業的活用

宿泊系：5

- ・安く泊まれるゲストハウス（朝食食不要）
- ・Bar があり、そのまま宿泊できる
- ・いろり、こたつのある場所

飲食系：5

- ・南会津の日本酒が飲める場所
- ・洋風のものか食べられるとよい
- ・レストラン
- ・角打ちできる酒屋
- ・コンセプトカフェ

敷地全体の活用：2

- ・祇園祭の時に、玄關前を休憩スペースに
- ・鳴山通り側からも通り抜けできると最高

文化活用系：4

- ・演奏会の開催
- ・村上春樹の本の中のモデル的活用（古着・古本等）
- ・町の歴史の博物館
- ・ものづくりなど講習会の開催

公共的活用

フリースペース系：6

- ・宴会などへの貸し出し
- ・誰でも自由に集え使えるオープンスペース
- ・イベント、催し物で使えたらよい
- ・屋内の子どもの遊び場（体がうごかせるもの）

住民活用系：6

- ・地元の人の写真や絵などを飾る展示 ×2
- ・手づくり作品のギャラリー ×3
- ・お話 Bar、婦人会で使いたい

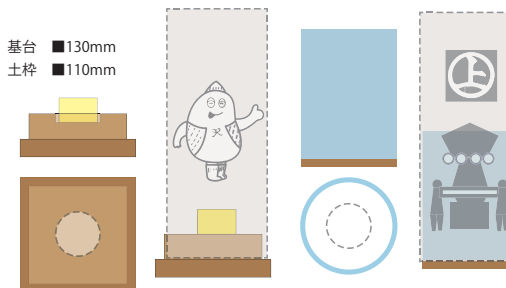
R6

古本市では、古本を事前にみなさんから提供してもらい、社会実験当日の来訪だけでない形で町民のみなさんに参加してもらう仕掛けをしながら、日本家屋で開催しました。



- ・車が少ないみちが走りやすい。
- ・まちなかはゆっくり走れる余裕がないので、歩道、自転車通行帯があるとよい。
- ・川沿いや河川敷などはとても気持ちがいい。
- ・途中に休憩スペースなどがあれば、さらによい。

基台 ■ 130mm
土枠 ■ 110mm



【日本家屋活用】：古本交換会 ・11/1本の日になんで、本をボックスを設けて事前に受付



- ・ブルーベリーマフィン（ジーママ）
- ・しんごろう（はいと）
- ・日本酒（会津酒造／国権酒造）
- ・その他漬物（和泉屋旅館、上町等）
：日本酒のあてとして提供
- ・ソフトドリンク



売上はエリアプラットフォームの運営資金へ

「街とその不確かな壁」 村上春樹の演出

【石造建築物活用】：「小説の世界をのぞく」/村上春樹「街とその不確かな壁」の再現
・室内装飾を整備して、「窓からのぞく」という形で公開

演出の参考にした【石造建築物に通じそうなキーワード・場面】



色褪せたレースのカーテン

・本当に色褪せたものだ、ただの汚い部屋に
なりかねないので、レースを柿渋染めなどし
て窓から少し離して飾る。(高橋制作)



粗末な木のベンチ
・昨年度の家具も活用



壁面への装飾
・針のついていない時計 → 優先度高い!!
・「16」という数字が刻まれた真鍮のプレート
・日めくりカレンダー



すでにある?
古時計の針を外す??



こんな感じ?
お持ちの方の提供待ち。

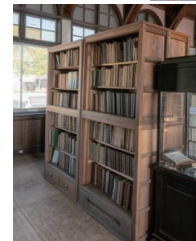
・小さな椅子が二脚
・テーブルが一つ



壁についたランプの
明かりは貧弱

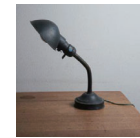
↓
ほのかな灯りの演出
骨董品のランプ
行灯、キャンドル

空っぽの本棚
(薬棚として使用されて)
もののことかと?)



木製のコートラック

・紺色のベレー帽 → 優先度高い!!
・緑色のワンピース
・緑色のマフラー
・黄色のレインコート



テーブルの上に
・その上に黒い大きなやかん
・濃い緑色の薬草茶
・古びたライトスタンド
・旧式の黒い電話機
・ガラスの灰皿
(クリップのいれものになっている)

みんなで片付け・掃除をして、
小物や道具を持ちより設えました!



雪まちあそびストリート

R6

県道高岡田島線沿い、国権酒造前から日の丸亭前までの区間について、冬期間に狭くなってしまう歩行空間を確保するための、片側交互通行の実証実験に併せて、「将来的に歩道が広くなったように活用できるのか!？」していくのか?」の歩行空間の使い方を検証し、歩きたくなるまちづくりに向けて考えていくための社会実験を実施しました。

歩いてみよう! ~冬期間の道路利用実証実験~

「雪まちあそび」ストリート

<田島地域上町区>片側交差通行を実施します

東道線田島駅周辺は、日本経済連合会今日の礼年前までの区域について、片側交差通行を実施し、冬期間に限り歩行者専用空間を広くする実証実験を行います。また、車道とオフパスベース、右道線建築物等を利用して、イベントの開催エリアを拡大します。

雪まちあそび体験
 雪ふりスライダや雪玉作りなど、雪遊びの体験ができます。
 雪遊びの他にも、雪まつりなどのイベントも実施予定です。

雪んご暮らし体験
 石巻産地産物日本産品販売所から、お茶や漬物などを販売します。また、「10月1日(土)限定販売」を実施します。

キッズカー/飲食ブース
 商店街は朝陽、そして子どもたちへお楽しみを！
 お菓子・飲み物・お花など販売します。
 特に朝陽の商店街には、特別なお店を開業します！

チェロの演奏会

毎年恒例となるタカハシ音楽学校のチェロコンクール大会が、今年も開催されます。

日時
2月1日(土)

- <第1部>11:00～16:00
- <第2部>16:00～17:00(チェロ演奏會)

国権酒造前

イベント区間
 国権酒造前～日の丸駅前

※写真にご覧ください

日の丸駅前

イベント会場
 田島地区コミュニティセンター
 (柳屋敷、田島公民館南隣)

問い合わせ先
 総合事務課 観光文化推進係 企画調整係
 (TEL：024-84-6200)

イベント詳細は、ぜひこちらをご覧ください

[illegible]

沿道建築物・オープンスペース活用
雪遊び / 雪ん子暮らし体験 / 飲食ブース



石造建築物活用 チェロの演奏会
2階と小説の世界の部屋から長谷川弘樹氏による演奏



石造建築物とチェロの素晴らしいハーモニーでした！



県道高碕田島線活用 オープンテラス
キッチンカー / テーブル・ベンチの飲食休憩スペース

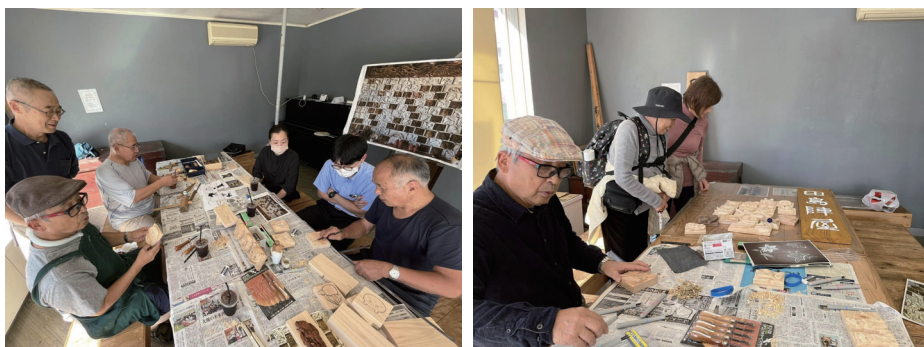


おもてなし力を高めるまちづくり

田島陣屋の活用 / 木彫りワークショップ R5

地域の木彫名人を講師に木のまち南会津をPRしていくために、木彫り看板の製作を進めています。1年目は、田島陣屋を活用して木彫りワークショップを開催しました。駅前通りからまちなかの角に立地していることもあり、木の音が響く空間に立ち寄ってくれる方も。

みんなで彫り上げた木彫りをひとつの看板にして、入口に飾り修景しました。



まちなか看板制作 R6

これから少しずつ、木彫り看板をまちなかに増やしていきます。



まちなか周遊と連携した大屋台の開放 R6

これまで3回実施したまちなか歩きやまちなかサイクリングのモニターツアーでは、ルート上にある屋台格納庫を開放してもらい、来訪者に見て頂くことに取り組みを実施しました。



QRコード事業では、

本大屋台格納庫・中大屋台格納庫
・上大屋台格納庫・西屋台格納庫の

4つの格納庫にそれぞれQRコードを設置。
今後は定期的な開放をめざしています。



想いを詰め込んだ 「てくてくマップ」 ができました！

エリアプラットフォームで、おすすめのまち歩きルートの設定や、
そのルートを中心にした情報をまとめた「てくてくマップ」を作成しました。

今後はQRコード事業と連携して、
まち歩きに重要なベンチやトイレの場所、
子ども連れなどが使える休憩所などの情報についても
随時更新していくマップとして活用していきます。

まちなかだけでなく、周辺の山や川などについても、
「山歩きコース」や「釣り場」など、
詳細情報を見られるように展開していきます。



旧南会津郡役所
南会津郡南会津町田島字丸山4681-1

明治18年、南会津郡役所として新築。洋風2階建てです。昭和45年福島県田島合同庁舎建設に伴い移築復原。昭和46年4月に、福島県指定重要文化財に指定されました。

	入館料		
	小学生	高校生	大人
■営業時間	9:00-16:00		
■定休日	火、年末年始		
■駐車場	有		
■お問合せ	0241-62-3848		



みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」

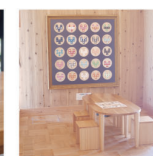
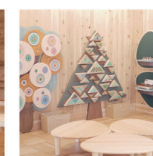
南会津町田島字本郷33-1

森林・林業・木材を身近なものとして実感できる木育スペースなどを設け、子どもから大人まで幅広い世代が集う憩いの場。
また、林業や木材産業の担い手を育成するため、林業労働安全や技術習得に関わる研修・講習会などの開催も予定しています。

■営業時間 9:00-17:00
■定休日 水、年末年始
■駐車場 有
■お問合せ 0241-64-5570(南会津森林組合)



きとねの利用申請・利用料金等については
こちらのQRコードからご確認ください。
※南会津町役場公式サイトでシェアします



石造建築物及び日本家屋

南会津町田島字上町甲4033

田島まちなかエリアプラットフォームでは、趣のある建物を利用して、古本市やチェロの演奏会などのイベントを実施して住民や観光客が集いにぎわう空間づくりを進めています。
建物周辺には、んだべろロードなどの小道もあり、行灯が目印となっています。

■駐車場 無
■お問合せ 0241-62-6100(南会津町役場)



紙面についてお問合せ

田島まちなかエリアプラットフォーム
(事務局：合同会社田島陣屋)

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字中町甲 3923-2
TEL 0241-62-1248



～あなたに知らない南会津町～

スクエマツ

会津田島編



南会津町へようこそ おいでくださいました。

てくてくマップでお好みの場所へ…
「見てよし、食べてよし、呑んでよし」会津田島のまちなかを散策
をお楽しみください。
そして、マップはお手持ちのスマートフォンでもご覧いただけ
ます。おすすめの散策ルートも掲載されていますので、まち歩
きにぜひご活用ください。

／ 続々追加中 ／

田島まちなかエリアマニックススポットの
全容はこちらをご覧ください

田島まちなかエリアプラットフォーム 検索



会津田島祇園祭

会津田島祇園祭は、南会津町田島地区で毎年7月
22日、23日、24日の3日間開催される田出宇賀神社
と熊野神社の祭礼です。日本三大祇園祭の一つに数え
られ、お祭りの期間中は4つの大屋台が立ち並びます。
七行器行列（ななはかいぎようれつ）は花嫁行列とも
呼ばれ、氏子から神前にお供え物を献上する神聖な行列です。振り袖姿の
女性が練り歩く華やかな光景を一目見ようと、大勢の観光客が訪れます。
大屋台は22日と23日の2日間運行します。大勢の子供たちを乗せ、
祇園囃子を奏でます。子供歌舞伎の上演とともに、町内を押し歩いてゆき
ます。





これから 目指していく まちなかの 将来像

これまで話し合ってきたまちなかの将来像は、これ！というひとつの像ではなく、次の3つを基本的な方針として、住んでる人や訪れる人、それぞれにさまざまな方法で取り組み、日々進化させていきます。

まちなかを周遊したくなるまちづくり

歩いてみたい！と思えるまちなかへ

魅力が詰めこまれた map や灯りやサインでまちをつなぎながら、地区ごとの特色ある修景づくりを進めることで、視覚的なつながりを整えていくとともに、まちなかを周遊したくなるコンテンツづくりを進めることで、神社・きとねのバイパス方面や、駅からのまちなか周遊への誘導を目指します。

暮らしの場の充実 + 訪れたくなるまちづくり

住んでる人が楽しいまちなかへ

道路整備事業予定地のメイン通りやそこにつながるうらみちの修景、歩行者空間の改善など、美しいみちづくりを進めるとともに、まちの中心にある石造建築物 / 日本家屋をはじめとして、空き家・空き地等を活用し、住民や観光客が集いにぎわう空間づくりを進め、まちなかの暮らしの充実を目指します。

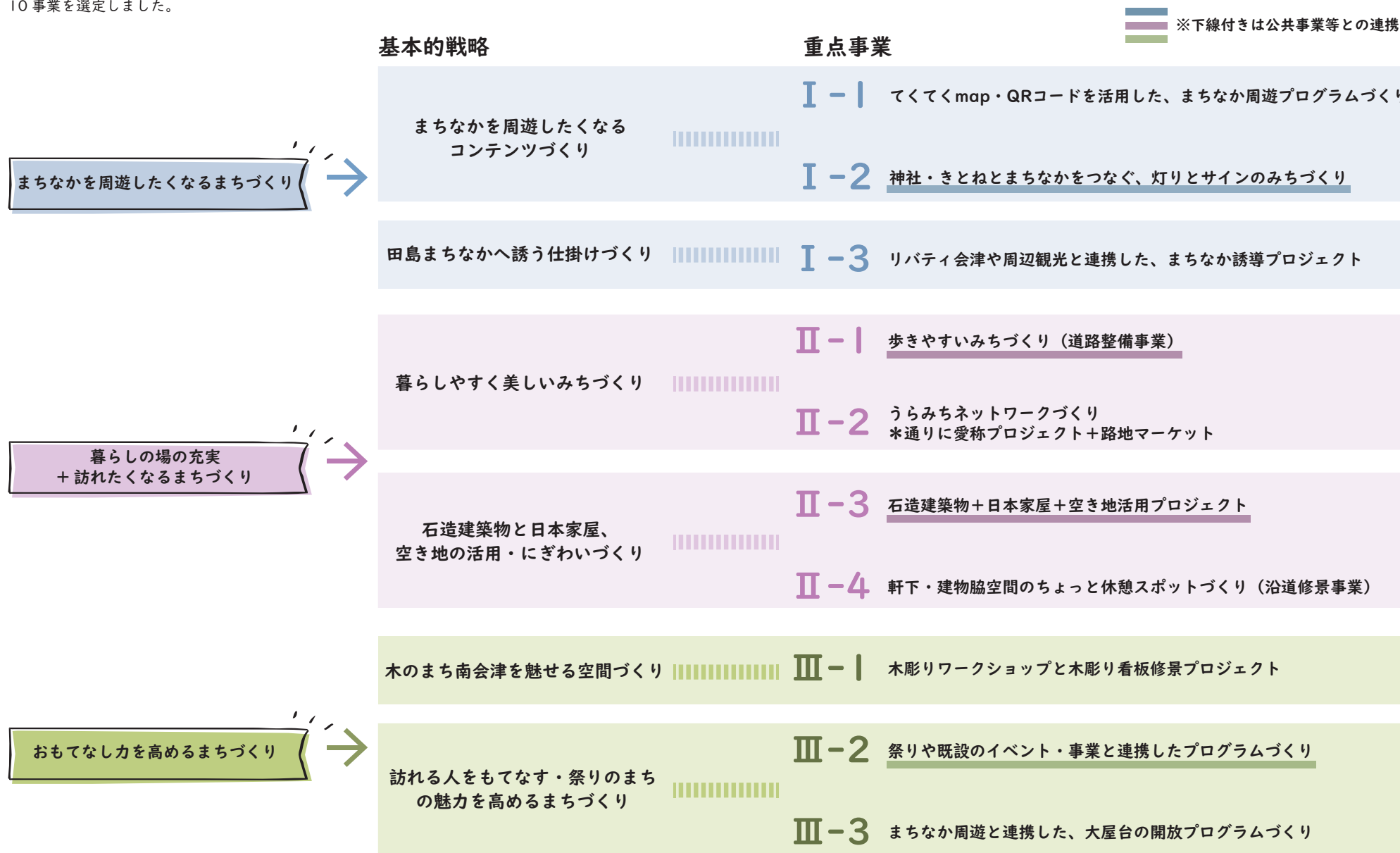
おもてなし力を高めるまちづくり

祇園祭と木のまちを魅せるまちなかへ

祇園祭や木のまち南会津を魅せる仕掛けづくりや、各店舗・建物の個々の修景など、住民の想いや手が感じられるまちなみづくり・おもてなしとともに、人が交わる辻界隈を中心とした駅前拠点のにぎわいづくりを進めることで、訪れる人をあたたかくもてなすまちづくりを目指します。

大きく力を入れていく事業はこれだ！

3つの基本方針から導きだした基本的な戦略と、重点的に大きく力を入れていく事業として、10事業を選定しました。



※下線付きは公共事業等との連携

まず実行に移していく取り組みは・・・

重点事業

I-1 てくてくmap・QRコードを活用した、まちなか周遊プログラムづくり

I-2 神社・きとねとまちなかをつなぐ、灯りとサインのみちづくり

I-3 リバティ会津や周辺観光と連携した、まちなか誘導プロジェクト

II-1 歩きやすいみちづくり（道路整備事業）

II-2 うらみちネットワークづくり
＊通りに愛称プロジェクト＋路地マーケット

II-3 石造建築物＋日本家屋＋空き地活用プロジェクト

II-4 軒下・建物脇空間のちょっと休憩スポットづくり（沿道修景事業）

III-1 木彫りワークショップと木彫り看板修景プロジェクト

III-2 祭りや既設のイベント・事業と連携したプログラムづくり

III-3 まちなか周遊と連携した、大屋台の開放プログラムづくり

具体事業

QR周遊スタンプラリーの継続

サイン行灯の増設事業の検討

夜の周遊を促そうそく
行灯プロジェクトの実施

リバティ会津を広めるPRプロジェクト
（予約方法の向上・駅前案内の充実）

県事業との連携
（実証実験やワークショップの開催）

うらみち愛称づくりの継続

石造建築物の耐震補強の検討
と活用イベントの実施

日本家屋の活用に向けた
運営計画・体制づくり

田島まちなかエリアプラットフォームでの
運営をめざして取り組んでいきます！

木彫りワークショップの継続
＋看板設置箇所の展開

DC事業に向けたイベント検討
セタまつりと連携した社会実験の実施

令和7年度の社会実験で
さっそく取り組みます！

QRコード事業/祇園祭Ver.の展開
大屋台の活用イベントの実施

※色付きは検討具体案を次項に示しています。

石造建築物の耐震補強の検討 と活用イベントの実施

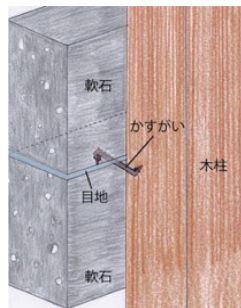
田島まちなかエリアの主要な施設である石造建築物と日本家屋の維持・継承のための活用方針を検討しています。

今後、石造建築物や日本家屋の国の登録有形文化財（建築物）指定や、県道高岡田島線の道路整備も視野に入れ、後世に幅広く継承していくことや、地区の景観づくりを進めていくために、重厚な建築物を活かした魅力的な観光・滞在施設によるにぎわいの創出を図っていきます。

構造調査

実測調査の結果、昭和初期に建造された木骨石造建築物。
（実測調査：郡山女子大学 長田研究室）

今後は「錠：かすがい」で固定されている、木軸組と石造壁の接合性能など、木骨石造建造物の耐震安全性の調査が重要となります。また、基礎の形状や大谷石と考えられている外壁に使用されている石の種類などの調査や、石の密度と石壁の体積から壁全体の荷重や、目地の数等の調査・実験等を経て、接合部の十分な強度を有しているかなど、地震時の安全性の確認が必要です。



接合部 出典：NPO 法人歴史的地域資産
研究機構 vol.20

耐震補強工法の検討

活用にあたっては建物の安全性・耐震性の担保が課題となるため、今後、現行法に基づいた耐震診断・改修を行う必要があります。

木骨石造については評価・補強手法が確立されていないため、宇都宮市のガイドライン他、先行事例を参照し、妥当な耐震評価・補強方法を専門家を交えて検討し、コスト等を含めて、活用計画と補強工法等の実現可能な計画を検討していきます。

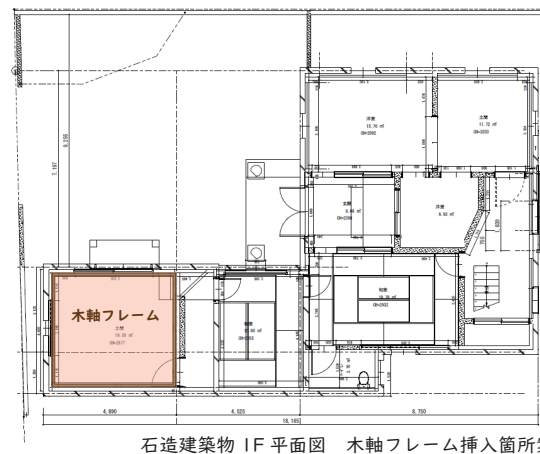
補強コストを軽微にする選択肢の例

コストを最小限に抑えるために、活用面積を絞ったり、2階床の撤去など負担を減らすことで、補強にかかるコストや時間を抑え、適切な費用対効果が得られるバランスを吟味していきます。

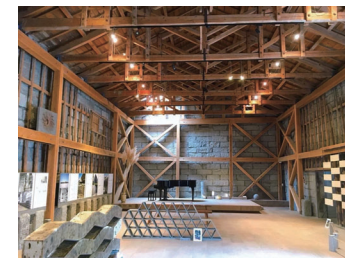
- ・荷重を軽くする 2階床を無くし、吹き抜けにする。
- ・材料工法の吟味 鉄骨やRCによるフレーム補強でなく、小規模な施工会社でも取り扱える木造架構を選択する。
- ・改修範囲を絞る 平屋部分のみ活用や健全性、耐震性が高い範囲のみ活用する。

「魅せる建築物」として当面保存活用

構造調査や耐震補強工法の検討、改修にはまだ時間を要するため、当面は「魅せる建築物」として保存活用を図ります。一部空間に耐震性のある木軸フレーム入れ、強固な箱型の空間（シェルター）をつくり、安全を確保しながら最小限のコストで現況ままのイベント的活用を図っていくことを検討します。



石造建築物 1F 平面図 木軸フレーム挿入箇所案



参考：「石蔵ギャラリー」STONE PLAZA
/ 栃木県那須町

*耐震改修法

：2階床を撤去し、建物にかかる荷重を減らし、石壁の内側に木造架構で補強コストを抑えた例。



「街とその不確かな壁」小説の世界の再現展示



夜のライトアップによる景観演出



中庭を含めたイベント活用



チェロの演奏会などイベント活用

日本家屋の活用に向けた 運営計画・体制づくり

日本家屋を活用しながら、石造建築物の改修・活用を目指していく

石造建築物においては、構造調査・耐震補強工法を継続中であるため、まずは比較的低コストで耐震補強が可能な木造日本家屋の活用計画を優先して進めていくことを検討します。

特に、田島まちなか地域には宿泊施設が少ないことや、日本酒 GI を取得の機運、歴史的建造物とも隣接する立地を生かした活用方法を計画し、田島まちなかエリアプラットフォームでの運営を目指して取り組んでいきます。



古民家・蔵の客室改修事例（鎌倉古）



寝室：布団用寝台+畳敷で人数の大小に対応
事例：下呂温泉小川屋webサイトより

石造建築物

仮）収支計画想定案

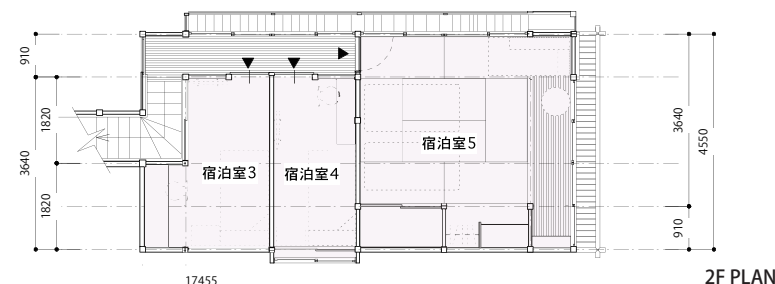
収入 計¥7,092,000

- ①事務所家賃 ¥10,000×12カ月＝¥120,000
- ②宿泊費（稼働日数×部屋数×稼働率÷稼働日数＝1日当たりの利用客数2.0と1.5で計算）
 - ・ドミトリ ¥3,800×180日×2＝¥1,368,000
 - ・個室 ¥10,000×180日×1.5＝¥2,700,000
- ③シェアキッチン ¥1,000×240日×1.5＝¥360,000
- ④レンタルスペース ¥1,000×240日×1＝¥240,000
- ⑤BAR売上（1日当たりの利用客数：8.0で計算）
 - ・¥2,000（想定平均単価）×144日（週3日程度）×8.0＝¥2,304,000

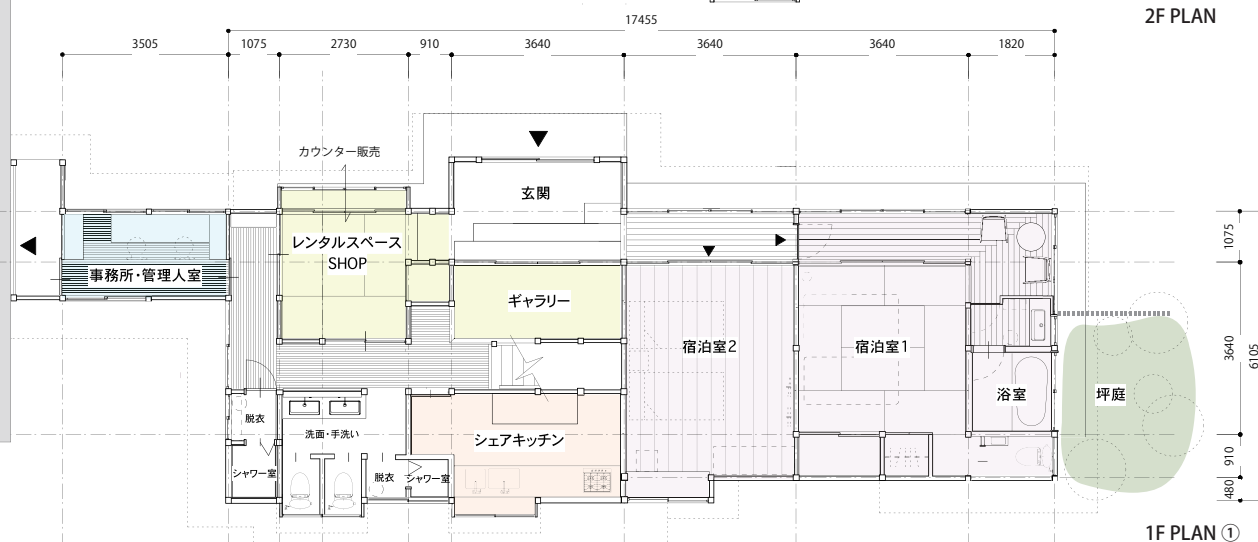
支出 計¥4,777,000

- ①事務所員報酬 ¥150,000×12カ月+福利厚生等 ¥550,000＝¥2,350,000
- ②水道光熱費・通信費等 月 ¥60,000×12カ月＝¥720,000
- ③クリーニング・消耗品費 ¥500×630（宿泊者数）＝¥315,000
- ④広告費・雑費等 ¥10,000×12カ月＝¥120,000
- ⑤保険料 ¥10,000×12カ月＝¥120,000
- ⑥仕入原価 ¥1,000（客単価見込みの40%）×1152（利用見込客数）＝¥1,152,000

日本家屋の活用プラン案①：宿泊室充実案



2F PLAN

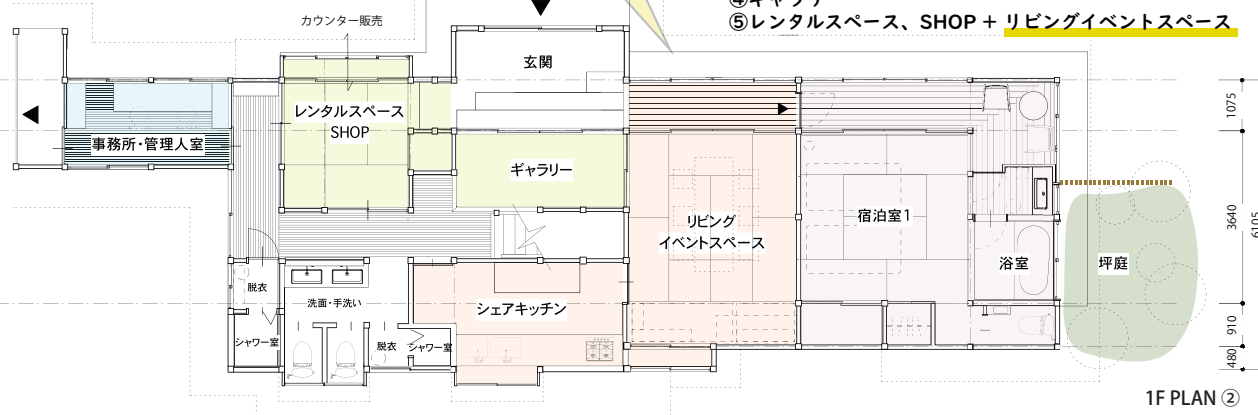


1F PLAN ①

日本家屋の活用プラン案②：主な導入機能

- ①事務所（スタッフ常駐兼ねる）
- ②宿泊機能：ドミトリ、個室、バスルーム
- ③シェアキッチン
- ④ギャラリー
- ⑤レンタルスペース、SHOP + リビングイベントスペース

リビング・イベントスペースでは、ワークショップなどを開催し、住民の交流スペースとして利活用を図ります！



1F PLAN ②

QRコード事業/祇園祭Ver.の展開 大屋台の活用イベントの実施

観光タウンガイド「てくてくQRマップ」

田島まちなかエリアでは、商店街のにぎわいづくりの一環として、「観光 QR ガイド（飲食・見どころマップ）」を作成し、訪れた観光客に対しておすすめの飲食店や店舗、見どころなどの各種情報などを発信する地域商業環境づくり支援事業を進めています。

おすすめの散策ルートによるまち歩きの実進など、田島まちなかエリアプラットフォームでは、てくてく QR マップを活用しながら、様々な取り組みを進めていきます。

おすすめ散策ルート

- (1) 「山・川・空・鳥」子どもとお散歩ルート
- (2) 駅から”ぎゅっと”手軽に魅力ルート
- (3) 会津田島祇園祭を感じる散策ルート
- (4) 「図書館長気分を味わう」小説の世界を歩くルート
- (5) 田島まちなかエリアたっぷり満喫ルート



祇園祭のおもてなし力を高める+祇園祭を深く知るためのPR

てくてく QR マップでは、祇園祭り開催時の課題であった、観光案内所や駐車場、トイレの位置表示や、最も人が集まる、七行器（花嫁）行列のルート表示を行う計画となっています。

そのほか今後は、御党屋や御神橋など会津田島祇園祭ならではの神事についても、興味をひいてもらう動画や画像を用いながら紹介するなど、まちをより深く知ってもらうための取り組みを進めていきます。

また、祇園祭開催時以外でも、祭りのまちの魅力を高めるため、QR スタンプラリーと連携しながら、大屋台を開放するプログラムを検討しています。



七行器行列だけじゃない、
祇園祭のみどころを紹介したい

知れば知るほど興味深い
御党屋や御神橋。
もっとみんなに知ってほしい！



小さなこともコツコツと。いろいろカルテ

「こんなことをやりたいな」「こんなまちになったらいいな」
ほかにもたくさん話し合いを進めました。すぐには無理な取り組みも、理想を描いてコツコツと！

I まちなかを周遊したくなるまちづくり

基本事業① まちなか博物館事業	
まちなか全体のコンセプトとして、「昭和レトロ」といったすぐにでもとりかかれるテーマを掲げ、奥会津博物館等に収蔵されている既存の資源を活用しながら、空き店舗などの通りの店先に展示し、まちなか博物館づくりを進める。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・奥会津で数百年の間使用されてきた山村生産用具など、奥会津博物館の約 24,000 点ほどの収蔵品を一部活用しながら、まちなかへの展示を行い、まちなか博物館構想を展開する。 ・空き家、空き店舗等においても、まずは通り側の店先のみを活用を進めることで、通り沿いの閉塞感を解消する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆通り沿いの修景、まち歩きの内容コンテンツづくり ◆南会津全体の資源を活用することで滞在動機を強化し、まちなかの楽しみ方への選択肢を増やす ◆奥会津博物館のPR

基本事業② 愛宕山を中心とした周遊プロジェクト	
自動車の流れのメイン通りとなる、バイパス沿いのきとねや御蔵入交流館を南会津の入口と位置づけ、これら施設駐車場に駐車を促し、施設からまちなかを徒歩や自転車、またはアクティビティ要素としてのキックボード等で周れるような環境づくり・取り組みを推進する。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・きとねや御蔵入交流館に、南会津の自然アクティビティにアクセスできるスペースを設け、情報発信とまちなかとの連携を強化する。 ・景観を楽しめるサイクリングルートや、フィッシングなどのスポーツエリアとして、阿賀川（大川）河川敷沿いや永田の桜並木を「リバーエリア」、また丸山公園～愛宕山～弁天山は「マウンテンエリア」と位置づけ、上町地区を中心としたまちなかの取り組みと連携する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆バイパスからまちなかへの人の流れの誘導 ◆南会津全体の資源を活用することで滞在動機を強化し、まちなかの民泊やゲストハウス等の活用を実現化するための基盤づくり

基本事業③ サイクリング etc 拠点プロジェクト	
駅前の空き店舗・空き地等を活用し、まちなかに不足しているサイクリング拠点や、キックボード活用のための新たな機能を整備していく。神社・きとねエリアから国道 121 号の中心部、嶋山城までは歩いて回るには距離があるが、②の周遊プロジェクトと連携して、サイクリングやキックボードでまちなか全体を楽しむ環境づくりを図っていく。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・工具類が揃いサイクリストが自由にメンテナンスできるサイクル工房スペースやキックボードレンタルの設置。 ・自転車通学の学生の活用や、休憩スペースも併設することで、学生や地域の人々も気軽に利用できるスペースとして、日常的な管理を地域住民で実施する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆レンタサイクル普及強化と運営拠点の拡充 ◆キックボードの新規導入によるまちなか周遊の促進 ◆まちに不足する自転車修理サービスの確保 ◆立ち寄りついでに会話が生まれる交流空間の創出

II 暮らしの場の充実 + 訪れたくなるまちづくり

基本事業① まちなかのロケーションを生かした誘客事業	
七五三やウェディングフォト、家族写真など思い出の地で撮影するロケーションフォトなどが流行していることから、田島にも撮影に適したところがあるので関係機関と連携し情報を発信する。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影スポットの情報を SNS などで発信する。 ・田島婦人会の貸衣装や美容室と協力しながら、気軽に撮影できる仕組みづくりを構築する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆関係人口の増加 ◆田島出身者の郷土の魅力の再発見

基本事業② 空き家や空き店舗を活用した体験機会の提供	
まちなかの空き家や空き店舗を利用して、昔あった駄菓子屋のような子ども達が集まって楽しめる場所や、気軽にそば打ちや歌舞伎などの体験ができたり、子供歌舞伎・神楽などを演じたりできる場所を整備する。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き店舗情報の整理 ・子どもの社会体験授業などと連携して、お店体験事業を実施する。 ・関係機関に協力を求め、体験ができる仕組みづくりを構築する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆生きがいづくりと活躍の場の創出 ◆空き家や空き店舗の改修、新規起業の誘発 ◆まちなかへの集客とにぎわいの創出

基本事業③ みんなが気軽に楽しめる空間づくり	
まちなか展覧会の開催など、店舗のみでなく買い物の用事がなくとも、まちなかに足を延ばして楽しめる場を創出する。 また、訪れた人がいつでも利用できるトイレを整備するなど、多くの人がまちなかに集まりやすい環境をつくる。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者天国イベントと合わせて、絵や書などのまちなか展覧会を開催する。 ・イベントでの出店や空き店舗でのチャレンジショップ的な出店の場の機会を増やし、軽食や雑貨などの店のオープン化を支援する。 ・各店舗等にも協力を求め、利用できるトイレを落とし込んだ、「気軽にどうぞトイレマップ」を作成する。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆新規起業の誘発 ◆高齢者の外出機会の創出 ◆まちなかへの集客とにぎわいの創出

III おもてなし力を高めるまちづくり

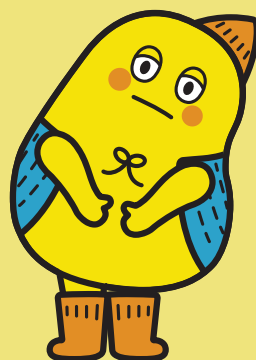
基本事業 ① エリアプラットフォームの発信事業	
田島まちなかエリアプラットフォームの活動を知ってもらうために、ホームページ作成や SNS での発信をすすめます。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・田島まちなかエリアプラットフォームのホームページの開設 ・SNS での社会実験やイベントなどの情報発信
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆取り組みの周知・PR ◆効果的な情報発信 ◆仲間の広がり

基本事業 ② 地域資源を生かしたまちなかへの誘客事業	
田島らしさを出したツアーの企画やピクニックスポットなど、地元住民ならではの情報を盛り込んだ情報発信に力を入れる。また、電動キックボードをはじめとして、コンパクトなまちの特徴を活かした移動手段やルート、ツアーづくりなど、日々新しい取り組みの導入を更新していく。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・田島ならではの食べ歩きツアーや雪かたしツアーを企画する。 ・電動キックボードのレンタルを行う。 ・ピクニックセットの貸し出しを行う。
期待される効果	◆若者やインバウンドなどの誘客が期待できる。

基本事業 ③ 季節の飾り物の展示	
道行く人が楽しめるよう、車通り・人通りの特に多い国道沿いの店舗に協力してもらい、クリスマスツリーやひな人形、こいのぼりなど、季節ごとの飾り物を展示してもらい、にぎやかさを演出する。	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスツリーやひな人形など、各家庭などで使わなくなったものを集めて、空き店舗のウィンドウなどを含めて飾りつけを行う。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ◆単独ではなく皆で取り組むことでインパクトが大きくなる。 ◆まちなかの連帯感の醸成 ◆空き店舗への入居者の誘致



どうやって 実現して いくか？



未来「んだんだ」ビジョンの展開シナリオ

この未来ビジョンは、10年先20年先を見据えて長期的な視点で取り組んでいくものですが、みんなのやる気が大きくなって広がっていくように、まちの雰囲気が少しずつでも変化していくことも大切です。田島のまちなかの将来像を実現させていくために、すぐにとりかかれて効果の見えやすい取り組みから社会実験として実施し、結果を検証しながら本格的に運用していくための、マネジメント期へと展開シナリオを想定しました。

	2025～2027年 短期（～3年） 社会実験期	2028～2037年 中期（5～10年） マネジメント開始期	2038～2047年 長期（20年～） マネジメント運用期
I. まちなか周遊	まち歩き促進 灯りサイン実験	ルート・プログラムの整備 サイン等施設の整備	まち歩きプログラムの マネジメント
II. 魅力づくり	歩行空間の利活用 石造建築物・日本 家屋の利活用	道路施設のリニューアル 改修整備・施設運営	沿道景観の修景 周辺施設の利活用
III. おもてなし	既設イベントと連携 各プログラム調整	イベントの盛り上げ システムの定着	担い手の確保 プログラムの継承
未来ビジョンの 定着・発展	説明・発信 新規ビジョンの収集	ビジョンの周知 随時バージョンアップ	未来ビジョンの更新 ・発展
田島まちなか エリブラの すすめかた	メンバーの連携 賛同者の広がり	自立・自走した組織 （都市再生推進法人へ の展開）	中心としての活動 他組織のけん引

推進体制 + どんどん仲間を増やしたい！

田島まちなかエリアプラットフォームは、まちなかの未来像を描き、その実現に向けて話し合い、協議し、共にまちなかの活性化と発展に取り組んでいくために設立されましたが、今後はその担い手となる民間事業者や次世代のリーダーを発掘・育成して、取り組みを継続させていくことが望まれます。

核となるマネジメント組織の立上げへ

エリアプラットフォームから、自立・自走のための **核** となる
マネジメント組織が立上り、外部有識者等との連絡調整や町との協議など、
エリアプラットフォームの民間事業者側の **中心** としての役割を担います。

都市再生推進法人

都市再生推進法人とは、
まちづくりの中核を担う法人として、
町が指定するもの。

都市再生推進法人の 主なメリット

- ・町の公的な位置づけによる円滑化
⇒まちづくりの担い手として、公的位置付けを付与
- ・行政及び自治体との委託契約及び受託事業
⇒国の各種補助事業、融資、税制特例等の活用

都市再生推進法人の 主な取り組み

- ・まちのエリアマネジメント
/ 公共空間の整備・管理、情報発信等
- ・イベントの実施等の展開
- ・協定締結による公共空間の一体的管理

実現してみたい、
企画・アイデアがあれば、
お寄せください！



仲間がたくさん増えるように

エリアプラットフォームでは、
「こんなことをやってみたい」
「わたしもこれなら協力できる」
といった、まちなかでの活動に共に取り組んでいく
ひとがたくさん増えることを目指しています。
多くの人が参加しやすいきっかけづくりについて
も、今後積極的に行っていきます。



特別コラム

モニターツアー参加を経て

日本庭園から見た田島祇園祭の「神橋」について

町田 香（庭園史家・京都芸術大学准教授）

神様が渡る橋をつくる祭があると聞いて田島祇園祭を訪れた。
「神橋」と呼ばれるその橋は、祭の神事の際にわざわざつくられるという。

日本庭園の歴史研究に携わっていることからこの「神橋」に興味を覚えた。
なぜかといえば、その橋が「土橋」だからである。土橋は伝統的な日本庭園には欠かせない重要な構成要素であり、土橋だけではなく橋そのものが日本庭園にとっては大きな意味をもつ。

例えば、日本庭園の代表的なモチーフとして蓬莱島がある。庭園の池には中島がつくられることが多いが、神仙思想を反映した蓬莱島には、不老長寿の妙薬をもった仙人が住むとされ、不老長寿への願いが込められている。しかし、この蓬莱島には橋は架からない。架空かつ神聖な島には橋を架けて渡ることはできないからである。このように日本庭園の橋はただ渡るという機能目的だけで存在しているのではなく、さまざまな意味をもっている。

そもそも、日本の文献に登場する最初の「橋」は『古事記』における「天の浮橋」という。神が天上界から地上に降りる際に天空に浮いてかかる橋から始まる橋の歴史は、橋そのものが神聖な存在であることを物語っている。

田島祇園祭の「神橋」はその名の通り神様が渡る橋であり、まさに神聖な存在である。神様は「神橋」を渡って御党屋（おとうや）と呼ばれる一般の家にやってくる。つまり「神橋」がなければ御党屋は神様を迎えることができない。神様が通りから家に入る、そのためだけにわざわざ「神橋」がつくられるという奇祭である。そして、その「神橋」は土橋である。

なぜ土橋なのだろうか。庭園において土橋は比較的手間のかかる構造である。土橋は木橋の一種で、木橋は土橋と板橋に基本的に分類される。板橋は木板を繋げたもので、土橋は丸太を繋げてその上を砂利や土を盛り固め、両端をシバやコケなどを植えて土留めしたものである。なぜ手間のかかる土橋なのか。

ところで、日本庭園には土橋のほかに石橋や板橋、さまざまな橋が存在し、その種類や大きさ、素材、色彩などが庭園の印象に大きく関わっている。その中で土橋は、緊張感のある石橋と異なり、木や石、植物でつくられていることから、柔らかく自然で鄙びた雰囲気を感じ出している。自然豊かな田舎や里山の雰囲気をつくるにはもってこいの橋である。日本の橋は一本の丸太を渡したものから発展し、丸太を繋げた木橋は歩きにくいことから、表面を土で覆い固め土橋としたそう。よって丸太を製材し木板にしてそれらを繋ぐ板橋は土橋の後出と思われ、さらに石橋の出現は近世以降とされるが、戦前の日本の町や村には土橋が多かったという。日本の中で土橋は橋の原風景に近いのではないだろうか。

さて祭の当日、いよいよ「神橋」を神様が渡る時がきたが、周囲はいくぶん賑やかであった。しかし「――神橋」を神様が渡るまさにその時、神様と「神橋」が一体となり神々しい力を放ち、周囲の喧噪をまかき消し静寂が訪れ思わず息をのんだ。そして、日本庭園の土橋を神様が渡る光景がなぜか脳裏に浮かんだ。田島祇園祭の「神橋」は、橋のもつ本来の神聖性と、土橋という日本における原風景的な土着の橋という点から、日本庭園との繋がりを感じられずにはいられない興味深いものであった。

【参考文献】

『重要無形民俗文化財 田島祇園祭のおとうや行事』（再版）南会津町教育委員会、2014年（初版：田島町教育委員会、1986年）

上田篤『橋と日本人』岩波新書、1984年

小山田了三『ものと人間の文化史 66・橋』法政大学出版局、1991年

※田島祇園祭のDeepな見方として、『祭りのまちの魅力を高めるまちづくり』に生かしたい

田島まちなか未来  ビジョン

2025年3月策定

田島まちなかエリアプラットフォーム
合同会社設計まちづくりテント